



綾川中学校
学校便り No.8
2023年5月23日

【令和5年度体育祭テーマ横断幕 制作：美術部】

「完全復活」 ～ 令和5年度綾川中学校体育祭 ～

5月20日(土)、綾川中学校2回目の体育祭が開催されました。5月8日(月)以降、新型コロナウイルス感染症の5類への移行を踏まえ、来賓の方々をお招きし、保護者の方への観覧制限も行わずに無事実施できました。私は、開会式で「完全復活の体育祭」という言葉を使って子どもたちに話をしましたが、終わってみると完全復活どころか以前よりも「進化」したとも言える体育祭の内容だったと感じています。

吹奏楽部の迫力ある生演奏を合図に始まった入場行進。その後の開会式、各競技・演技、閉会式はもちろんのこと、裏方となった審判、招集、用具、記録、放送等の係の仕事ぶり等の子どもたちの頑張る姿を見るにつけ、思わず笑みがこぼれたり感動で涙がうるんだり、子どもたちの「共えん」ぶりに心揺り動かされ続けた1日となりました。



【開会式での吹奏楽部の演奏】

ここで、17日(水)の予行演習を含め、体育祭で私が感じた子どもたちの素晴らしさの一端を以下に紹介します。

- 入場行進で手を元気よく振り、地面を蹴る足の動きが力強かったこと。
- 各種競技に手を抜くことなく全力で取り組んでいたこと。また、たとえ順位が最下位だったとしても最後まで競技をやり切る姿が見られたこと。また、それに対して温かい労いの拍手が運動場に響き渡ったこと。
- 競技、演技はもちろんのこと、「入退場も演技」として駆け足移動を大切にしていたこと。
- 自分の学級だけでなく、他学年を応援する風景が素晴らしく、上級生への「あこがれ」や「敬意」、下級生への「いたわり」や「手本を示す気持ち」が感じられたこと。
- 17日(水)の予行演習の成果と課題を踏まえ、審判、用具、招集、記録、放送等、それぞれの係の仕事ぶりに改善と充実、的確さ等が感じられたこと。
- 全校ソーラン節の声と動きが見事にシンクロし、学校全体の一体感が感じられたこと。
- 喜びを爆発させる「祭り」の雰囲気と、「規律や真剣さ」のバランスがよく、微笑ましくもあり、楽しくもあり、感動や見ごたえのある行事となったこと。
- 子どもたちに終始笑顔があふれていたこと。
- 準備・片付け等に対しても、労を厭わず任された仕事を率先してやり遂げられること。



【全校ソーラン節】

このように様々な成果を得られた体育祭。単に楽しかった、勝ってよかった、負けて悔しかったという表面的な感想に留まらず、他者を思いやる気持ち、苦しい中でも頑張り抜いた自信、失敗を成功につなげる努力、仲間とともに活動する喜び等がそれぞれの心に刻み込まれたことでしょう。多感な中学生のこの時期に、こうした経験の積み重ねが豊かな人間性を形成していくものと考えます。

今後も、単に学校行事をこなすだけでなく、それぞれに意義付けや意味付けをしてともにチャレンジすることの素晴らしさを体感させていきたいと考えています。

結びに、保護者の皆様におかれましては、ご多用の中、多数ご観覧いただき本当にありがとうございました。また、日々の体調管理や体操服の洗濯、当日の弁当作り等、陰ながら子どもたちを支え続けていただいたことに対しても重ねてお礼を申し上げます。

今後とも綾川中学校の教育活動にご理解・ご協力をお願いします。

【令和5年5月20日（土）綾川中学校体育祭 フォトグラフ①】



【堂々たる入場行進】



【開会式 力強い選手宣誓】



【臨戦態勢づくり 全校ストレッチ】



【一球入魂 玉入れ】



【心を一つに MUKADE】



【バランス感覚① スプーンレースリレー】



【バランス感覚② 出前一丁レース】



【歓喜① 台風の日レース】

【令和5年5月20日（土）綾川中学校体育祭 フォトグラフ②】



【歓喜② 大縄跳び】



【競技を支える用具係】



【姿勢よく記録を表示する記録係】



【コース紹介で礼を正す】



【全力疾走 入退場も演技の一つ】



【招集係のもとへ選手集合】



【放送係の仕事の源 記録係の表示】



【選手とともに全力疾走 審判】